

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-95	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
81 山川	歴総708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。」に留意した点

- ・日本および世界の現在につながる近代・現代の歴史を、44のテーマに焦点化し、世界とそのなかにおける日本の歩みを関連づけながら叙述することによって、大局的・相互的に「幅広い知識と教養を身に付ける」ことができるよう留意した。
- ・「歴史総合」のみならず、現代社会における基本的な知識・教養として重要と思われる概念用語や経済用語などについて、簡潔な解説を設けた。
- ・巻頭付録「世界のつながり」では2・8・13・16・18世紀の世界を取り上げ、前近代および近代の世界の交流について概観できるようにした。
- ・各テーマの冒頭に「テーマ全体の問い」を設けることによって学習の目的を明確にした。また生徒の興味・関心を引き出す「導入図版と問い」を設け、「テーマへのアプローチ」で「テーマ全体の問い」につながる3つの問いを設定した。これらの構成によって「真理を求める態度を養う」ことができるよう留意した。
- ・当時の人々の様々な考えや行動、またその背景について理解を深める文字資料・グラフ・図版などを豊富に掲載し、それぞれに問いを設けた。資料を読みとき、問いについて考えるなどの活動を通して「豊かな情操と道徳心を培う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。」に留意した点

- ・生徒が主体的に学習できるよう「みる・読みとく・考える」を柱に段階的な問いを豊富に設定した。生徒自身が根拠に基づいて自分なりの考えを表現できるよう問いを工夫することで、「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことができるよう留意した。
- ・「人物コラム」を設け、その人物が歴史上どのような役割を果たしたかを解説した。また彼らの発

言などを適宜資料として取り上げ、より具体的に考えや行動について理解・考察できるようにした。

- ・大衆の権利へのめざめや政治参加、職業や生活の変化と社会状況の関連について、女性や子どもの視点も取り入れながら豊富な資料を用いて叙述した。これらの歴史的経緯を学ぶことによって「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」ができるよう留意した。

**教育基本法第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点**

- ・国際連盟や国際連合の機能とその課題、地域紛争が多発する現代における国際連合の役割と安全保障の問題などの事例を通して、「正義と責任」について考察できるよう留意した。「男女の平等、自他の敬愛と協力」については、女性の労働の変化や参政権獲得に至る経緯、オリンピックにおける格差、移民や黒人への差別とそれへの取組などの事例を通して考察できるよう留意した。
- ・第1部・第2部の最後に設けた「現代的な諸課題」のページでは、過去の課題とその取組について様々な視点から学んだうえで、現代にも通じる諸課題について問いかけを行い、主体的に考えられるよう留意した。学習の総まとめにあたる第3部の「現代的な諸課題の形成と展望」では、100年後の未来を想像することによって現代の課題を認識し、歴史的な見方・考え方を通じてその課題について考察するよう構成した。このように将来を展望することによって、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

**教育基本法第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」に留意した点**

- ・近代化・経済の自由化・戦争などによる環境問題と保全への取組、原子力発電所事故が環境に与える影響などを事例に「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

**教育基本法第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点**

- ・世界とそのなかにおける日本の歩みを関連づけながら叙述し、地域の違いやその背景について考察を促すことによって、日本と世界の国々の政治・経済・社会・文化あるいはそれらの相互作用について理解を深められるよう留意した。国際社会のなかで生きる市民としての自覚を促し、様々な課題とその解決について主体的に考察できるよう、豊富な資料や問いを設定した。これら一連の活動を通して「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界のつながり  歴史の扉①歴史と私たち 現代の私たちと旅 歴史の扉②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか	*「世界のつながり」では各世紀の地域の交流を地図と解説で示し、概観できるようにした(第1号)。 *「歴史の扉①」では日本の旅の歴史を事例として、近代から現代にかけて世界との関わりによる変化と課題に気付くようにした(第5号)。 *「歴史の扉②」では「大日本帝国憲法の発布」に関する各種資料を活用し、多角的・批判的な視点から資料を読みとく重要性に気付くようにした(第1号)。また、歴史資料を保存する大切さにも気付くようにした(第5号)。	p. 4~7  p. 8~9  p. 10~11
<b>第Ⅰ部 近代化と私たち</b> 1. 交通と貿易/2. 産業と人口/3. 権利意識と政治参加、国民の義務/4. 学校教育/5. 労働と家族/6. 移民  <b>第1章 結びつく世界と日本の開国</b> 1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命 4 中国の開港と日本の開国  <b>第2章 国民国家と明治維新</b> 1 市民革命 2 国民国家とナショナリズム 3 明治維新 4 日本の産業革命 5 帝国主義 6 変容する東アジアの国際秩序 7 日露戦争と東アジアの変動  <b>●近代化と現代的な諸課題</b> ①開発・保全/②対立・協調/③自由・制限	*第Ⅰ部の1~6の項目では、労働(第2号)、男女の平等(第3号)、環境(第4号)などに関する資料を豊富に掲載した。また読みとりを促す問いを通して、生徒自ら疑問点などを表現できるようにした(第2号)。 *章扉では、日本と世界を色分けした年表を提示し、それぞれ関連付けながら概観できるようにした(第1号)。 *「人物コラム」を設け、その人物が歴史上どのような役割を果たしたかを解説した(第2号)。  *第1章では、アジア諸国と欧米諸国の関係の変容のなかで、伝統と文化、交流について関心が高まるよう配慮した(第5号)。また産業革命によって労働環境や生活環境が変化し、課題が生じたことが理解できるようにした(第2号・第4号) *第2章では、国民国家や帝国主義の特徴、植民地とされた地域について学び、他国を尊重する態度を養えるように配慮した(第2号)。 *部の最後の「近代化と現代的な諸課題」では、環境保全への試みについて考察するページを設けた(第4号)。	p. 12~17  p. 18~19、38~39  p. 23、30、32、35、42、46、52、56、57、64、69  p. 20~37  p. 40~69  p. 70~71
<b>第Ⅱ部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 1.20世紀の国際関係の緊密化/2.アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭/3.植	*第Ⅱ部の1~5の項目では、国際社会の平和(第5号)、男女の平等(第3号)、労働(第3号)などに関する資料を豊富に掲載した。また読みとりを促	p. 76~81

<p>民地の独立／4.大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／5.生活様式の変化</p> <p><b>第3章 総力戦と社会運動</b></p> <p>1 第一次世界大戦の展開</p> <p>2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭</p> <p>3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制</p> <p>4 世界経済の変容と日本</p> <p>5 アジアのナショナリズム</p> <p>6 大衆の政治参加</p> <p>7 消費社会と大衆文化</p> <p><b>第4章 経済危機と第二次世界大戦</b></p> <p>1 世界恐慌の時代</p> <p>2 ファシズムの伸張と共産主義</p> <p>3 日中戦争への道</p> <p>4 第二次世界大戦の展開</p> <p>5 第二次世界大戦下の社会</p> <p>6 国際連合と国際経済体制</p> <p>7 占領と戦後改革</p> <p>8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向</p> <p>9 日本の独立と日米安全保障条約</p> <p>●国際秩序の変化・大衆化と現代的な諸課題</p> <p>①対立・協調／②統合・分化／③平等・格差</p>	<p>す問いを通して、生徒自ら疑問点などを表現できるようにした（第2号）。</p> <p>*章扉では、日本・世界・世界と日本を色分けした年表を提示し、それぞれ関連付けながら概観できるようにした（第1号）。</p> <p>*「人物コラム」を設け、その人物が歴史上どのような役割を果たしたかを解説した（第2号）。</p> <p>*第3章では、第一次世界大戦後の国際協調体制の成立と限界について理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした（第5号）。また、社会運動やアジアのナショナリズムの高まりのなかで、平等を重んじ、主体的に社会の形成に参加する態度を養えるように配慮した（第3号）。</p> <p>*第4章では、第二次世界大戦の惨禍や大戦下の人々の生活を通して、生命を尊ぶ態度を養えるように配慮した（第4号）。</p> <p>*部の最後の「国際秩序の変化・大衆化と現代的な諸課題」では、移民への対応を事例に、立場による正義のあり方や人種平等について考察できるようにした（第3号）。また男女の平等についてオリンピックを事例に考察するページを設けた（第4号）。</p>	<p>p. 82～83、112～113</p> <p>p. 86、87、89、99、101、111、115、117、123、124、125、129、133、139、143、147</p> <p>p. 84～111</p> <p>p. 114～151</p> <p>p. 152～157</p>
<p><b>第Ⅲ部 グローバル化と私たち</b></p> <p>1.冷戦と国際関係／2.人と資本の移動／3.高度情報通信／4.食料と人口／5.資源・エネルギーと地球環境／6.感染症／7.多様な人々の共存</p> <p><b>第5章 冷戦と世界経済</b></p> <p>1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化</p> <p>2 東西両陣営の動向と1960年代の社会</p> <p>3 軍拡競争から緊張緩和へ</p> <p>4 地域連携の形成と展開</p> <p>5 計画経済とその波及</p> <p>6 日本の高度経済成長</p> <p>7 アジアのなかの戦後日本</p> <p><b>第6章 世界秩序の変容と日本</b></p> <p>1 石油危機</p>	<p>*第Ⅲ部の1～7の項目では、国際社会の平和（第5号）、自他の敬愛と協力（第3号）、環境の保全（第4号）などに関する資料を豊富に掲載した。また読みとりを促す問いを通して、生徒自ら疑問点などを表現できるようにした（第2号）。</p> <p>*章扉では、日本・世界・世界と日本を色分けした年表を提示し、それぞれ関連付けながら概観できるようにした（第1号）。</p> <p>*「人物コラム」を設け、その人物が歴史上どのような役割を果たしたかを解説した（第2号）。</p> <p>*第5章では、冷戦下の地域紛争と脱植民地化や地</p>	<p>p. 158～165</p> <p>p. 166～167、200～201</p> <p>p. 171、175、177、181、182、185、189、208、211、220、223、224、228、235、236</p> <p>p. 168～199</p>

<p>2 アジア諸地域の経済発展</p> <p>3 市場開放と経済の自由化</p> <p>4 情報技術革命とグローバリゼーション</p> <p>5 冷戦の終結とソ連の解体</p> <p>6 現代の東アジア</p> <p>7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化</p> <p>8 地域統合の拡大と変容</p> <p>9 地域紛争と国際社会</p> <p>10 現代と私たち</p> <p>●現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>域連携について学び、他国を尊重し、国際社会の平和について考察できるよう配慮した（第5号）。また経済成長のなかで、環境保護運動が高まったことを通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮した（第4号）。</p> <p>*第6章では、地域紛争が多発する現代における国際連合の役割と安全保障の問題などの事例を通して、正義と責任、および国際平和について考察できるよう留意した（第3号・第5号）。</p> <p>*部の最後の「現代的な諸課題の形成と展望」では、歴史的な見方・考え方を通してその課題について考察するよう構成した。また将来を展望することによって、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」ができるよう留意した（第3号）。</p>	<p>p. 202～241</p> <p>p. 242～243</p>
--	--	-------------------------------------

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・地図・グラフの作成においては、カラーユニバーサルデザインに則り、色覚特性のある生徒にも読みやすい配色や線種を使用した。
- ・二次元コードを付し、動画や資料を参照して、より深い学びにつなげられるようにした。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102-95	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
81 山川	歴総708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### A ポイントを押さえ、テーマで学ぶ教科書

#### ●簡潔な本文、構造的で分かりやすいレイアウト

- ・全体を3部構成、44のテーマに分け、各テーマを4～6ページで構成。各テーマの学習のねらいを明確にすることによって、押さえるべきポイントを無理なくしっかり学習できるよう配慮した。
- ・資料と問いは上段、本文は下段とシンプルなレイアウトとした。また、資料に取り組む時間を考慮して、本文の分量はなるべく抑えて簡潔にした。
- ・本文中にアルファベット記号を付し、対応する資料が一目で分かるようにした。
- ・各図版には通し番号を付し、素早く参照できるようにした。
- ・ゴシック体は用語の暗記を促すのではなく、テーマを理解するための概念用語や重要用語を中心に付した。
- ・「用語解説」では、歴史用語のみならず、現代社会における基本的な教養として重要と思われる概念用語や経済用語も取り上げた。

→p.96「GNPとGDP」、215～217など

#### ●「みる・読みとく・考える」ための豊富な資料と問い

- ・資料と問いは授業の内容に応じて選択的に取り上げられるよう、風刺画・グラフ・文字資料などを豊富に用意した。問いは難易度を段階的に設定し、歴史的な見方・考え方が自然に身につくよう工夫した。

#### ●前後関係を確認できる各種年表

- ・時系列も把握しやすいよう、章扉やテーマごとに関連年表を設けた。また本書の内容に合致した詳細な巻末年表を付し、学習の便宜を図った。

#### ▶ 本書の構造を生かした授業フロー例

- ①「テーマ全体の問い」を確認
- ②「導入図版と問い」で興味・関心を高める

- ③「テーマへのアプローチ」で①に至る段階的な課題を確認
- ④資料を読みとり、本文も参照しながら問いに取り組むなどの活動を行う
- ⑤授業の最後に③および①に取り組む

## **B**世界と日本の関わりを重視した記述、「地理総合」との連関

●世界史・日本史を分けることなく、相互の関係性のなかで記述することを心がけた。各種年表で同時代の動きを確認したり、問いで比較させたりと、世界と日本を意識しながら学習できるようにした。

●近代から現代における世界と日本の経済的な一体化・グローバル化の流れを、地図やグラフを多用して記述し、全体を通して意識できるようにした。

→p. 6～7、24、25、29、33、37、114、186、198、205、217、233

●現代の諸課題について考察するための知識として、現代の各種統計やエネルギー供給など、地理的な情報も意識して盛り込んだ。

→p. 240～241、裏見返し「地球温暖化が関係していると考えられる現象」「石炭・天然ガス・石油・ウラン産地とエネルギー供給」「世界の自然」

## **C**課題を追究・解決する活動のために

●読み取りやすい地図やグラフ

地図・グラフの作成においては、カラーユニバーサルデザインに則り、色覚特性のある生徒にも読みやすい配色や線種を使用した。

●年表と組み合わせたわかりやすい地図や構造図

時間的・空間的な理解を深め、本文の内容を整理できるよう地図と年表を組み合わせた図版や、EUやASEANの構造図など、作図を工夫した。

→p.33、44、58、168、184、186、230、234 など

●段階的な難易度に配慮した資料と問い

・各部の扉に該当する「近代化と私たち」「国際秩序の変化や大衆化と私たち」「グローバル化と私たち」では、図版やグラフなどの資料をどのように読みとり、分析するかのトレーニングとなるよう配慮した。直感的に読みとったり比較して考えたりできるような資料と問いによって、以後の学習内容の課題意識につながるようにした。

・各テーマの資料については、写真・絵画・風刺画・ポスター、新聞記事・統計資料（グラフ）・地図・文字資料（条文・演説）など、様々な種類の資料を取り上げた。これら豊富な資料によって情報を読みとる能力の向上を図った。また歴史の見方・考え方に基づいた問いも豊富に挙げ、考察し表現する能力の育成を図った。

・各部のまとめとなる「近代化と現代的な諸課題」「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」「現代的な諸課題の形成と展望」では、これまでの学習を通して現代の課題の解決を視野に入れて構想できるよう構成を工夫した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
歴史の扉①歴史と私たち 現代の私たちと旅	A 歴史の扉 (1) 歴史と私たち	p. 8～9	1
歴史の扉②歴史の特質と資料 歴史資料とは何だろうか	(2) 歴史の特質と資料	p. 10～11	1
<b>第 I 部 近代化と私たち</b> 1. 交通と貿易／2. 産業と人口／3. 権利意識と政治参加、国民の義務／4. 学校教育／5. 労働と家族／6. 移民	B 近代化と私たち (1) 近代化への問い	(p. 12～75) p. 12～17	1
<b>第 1 章 結びつく世界と日本の開国</b> 1 18世紀の東アジアにおける社会と経済 2 貿易が結んだ世界と日本 3 産業革命 4 中国の開港と日本の開国	(2) 結びつく世界と日本の開国	p. 18～37	6
<b>第 2 章 国民国家と明治維新</b> 1 市民革命 2 国民国家とナショナリズム 3 明治維新 4 日本の産業革命 5 帝国主義 6 変容する東アジアの国際秩序 7 日露戦争と東アジアの変動	(3) 国民国家と明治維新	p. 38～69	9
●近代化と現代的な諸課題 ①開発・保全／②対立・協調／③自由・制限	(4) 近代化と現代的な諸課題	p. 70～75	2
<b>第 II 部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 1.20世紀の国際関係の緊密化／2.アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭／3.植民地の独立／4.大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／5.生活様式の変化	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	(p. 76～157) p. 76～81	1
<b>第 3 章 総力戦と社会運動</b> 1 第一次世界大戦の展開 2 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭	(2) 第一次世界大戦と大衆社会	p. 82～111	9

3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制			
4 世界経済の変容と日本			
5 アジアのナショナリズム			
6 大衆の政治参加			
7 消費社会と大衆文化			
<b>第4章 経済危機と第二次世界大戦</b>	(3) 経済危機と第二次世界大戦	p. 112～151	11
1 世界恐慌の時代			
2 ファシズムの伸張と共産主義			
3 日中戦争への道			
4 第二次世界大戦の展開			
5 第二次世界大戦下の社会			
6 国際連合と国際経済体制			
7 占領と戦後改革			
8 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向			
9 日本の独立と日米安全保障条約			
<b>●国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</b>	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	p. 152～157	2
①対立・協調／②統合・分化／③平等・格差			
<b>第Ⅲ部 グローバル化と私たち</b>	D グローバル化と私たち	(p. 158～243)	
1.冷戦と国際関係／2.人と資本の移動／3.高度情報通信／4.食料と人口／5.資源・エネルギーと地球環境／6.感染症／7.多様な人々の共存	(1) グローバル化への問い	p. 158～165	1
<b>第5章 冷戦と世界経済</b>	(2) 冷戦と世界経済	p. 166～199	9
1 冷戦下の地域紛争と脱植民地化			
2 東西両陣営の動向と1960年代の社会			
3 軍拡競争から緊張緩和へ			
4 地域連携の形成と展開			
5 計画経済とその波及			
6 日本の高度経済成長			
7 アジアのなかの戦後日本			
<b>第6章 世界秩序の変容と日本</b>	(3) 世界秩序の変容と日本	p. 200～241	12
1 石油危機			
2 アジア諸地域の経済発展			
3 市場開放と経済の自由化			
4 情報技術革命とグローバリゼーション			
5 冷戦の終結とソ連の解体			
6 現代の東アジア			
7 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化			

8 地域統合の拡大と変容			
9 地域紛争と国際社会			
10 現代と私たち			
●現代的な諸課題の形成と展望	(4) 現代的な諸課題の形成と展望	p. 242～243	3
予備			2
		合計	70